

第6回「青森県海岸津波対策検討会」の検討内容について

1. 国が示した断層モデルについて

○平成26年8月26日（火）に開催された国の「日本海における大規模地震に関する調査検討会」で報告された60断層253ケースについて、青森県沿岸で津波水位の高い断層モデルを検討した。

○その結果、以下の4断層10ケースを選定し、今後、10mメッシュで新たに津波浸水シミュレーションを実施することとした。

「F17_左側」「F17_隣接_LRR」

「F18_右側」「F18_隣接_LRR」

「F20_中央」「F20_左側」「F20_隣接_LLRR」「F20_隣接_LRLR」「F20_隣接_LRRR」

「F24_隣接_LLLR」

また、国の津波断層モデルについても、代表地点を選定し、周期の違いを確認することとした。

○なお、今回の国の断層モデルは、⑤北通地域海岸（大間崎～尻屋崎）より太平洋側の地域海岸については、平成24年度に公表した津波浸水予測に影響を与えないことを確認した。

2. 陸奥湾沿岸の津波浸水予測について

○今回は、平成24年度に津波浸水予測を行わなかった陸奥湾東、陸奥湾南東、陸奥湾西の各地域海岸についても津波浸水予測を実施することとした。